

ひまわりの声

題字：高森政雄区連会顧問

～地域も「あったかデジタル」へ～

港南区連合町内会長連絡協議会会長 古屋 文雄



今年度、区連会会長に就任しました古屋です。至らない点多々あるかと存じますが、区民の皆さまとともにより良い地域づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまには、日ごろから自治会町内会、区連会の活動にご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。この一年は新型コロナウイルス感染症への対応をしながら、各地区で工夫をした形で地域活動が次々に再開されました。地域の絆を絶やさないう、活動されている自治会町内会の皆さまに感謝申し上げます。

港南区は「デジタル区役所」のモデル区として、デジタル技術を活用した取組にチャレンジし「あったかデジタル 港南」を目指しています。LINEを普段の連絡に使ったりZoomでオンライン会議などを行ったり、日常生活にICT（情報通信技術）を活用することが当たり前のことになっています。私たち自治会町内会の活動にもICTを活用することで、連絡などにかかる手間を減らしたり、活動に参加しにくかった方々の参加を期待することができます。各地域で抱えている様々な課題を解決するためにもこういった新しい技術や手法を率先して試していきましょう。

区内で今後30年の間に震度6弱以上の地震が起きる確率は約70%といわれています。災害発生時、まずは自分や家族の安全が第一ですが、その後、地域の皆さんがお互いに助け合っていくためにも「向こう3軒両隣」の関係性がとても重要となります。ぜひ、積極的に地域活動に参加してください。

引き続き、区民の皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

地区連合町内会長ご挨拶 ～令和4年度、地区連合町内会長になられたお二人です～

港南台連合自治会長

川島 千春

港南台連合自治会は17自治会、約7,000世帯が加入しています。港南台地区は1969年に造成工事が着手され、道路19.6%、公園5%、緑地1%、河川水路0.2%、小学校用地6校、中学校用地3校、高校用地1校など生活に必要な施設は理想的な配置となっています。

また、第4期福祉保健計画では「ふれあう」「参加する」「助け合う」「つながる」を合い言葉として、より安全安心で住みやすいまちづくりを目指して、地域の皆様とまちの一層の発展に務めてまいります。



芹が谷連合自治会長

飯島 英夫

令和4年5月芹が谷連合総会後会長に就任しました。突然で身が引き締まる思いで一杯です。

芹が谷連合自治会ではとことん話し合いで物事を決定します。また、連合は6自治会2,100世帯強で、地域は起伏に富んだ住みよい街です。

今年は第4期福祉保健計画の2年目を迎えます。3テーマを3リーダー中心に活動しています。私は健康・レクグループリーダーとして、コロナ禍でも工夫と柔軟性を持って活動します。よろしくお願いいたします。



災害に備えた地域での取り組み

～区連会 研修会・意見交換会～

令和4年12月13日に「区連会研修会・意見交換会」を開催しました。今回のテーマは「在宅避難への備えと地域での防災活動について」です。横浜市民防災センターでVRゴーグルを活用した風水害体験をするほか、地震や火災体験、震災に対する防災講話を受けました。その後、各地区での在宅避難のあり方や考え方、防災に関する取り組みについて、4つのグループに分かれ、意見交換を行い共有しました。

風水害VR体験



地震体験



火災体験



防災講話



各グループ 意見交換内容

グループA 港南台・野庭団地・野庭住宅

- ・自治会で防災備蓄をしているが、各家庭でも在宅避難を想定して3日分の備蓄をするよう呼びかけている。
- ・区境に住んでいる住民は他区の防災拠点の方が近く、自区の防災拠点が遠いこともある。特に足の弱った高齢者の支援は考えていく必要がある。
- ・在宅避難の安否状況を、マンションはドアにマグネット等で貼ることや、戸建ては玄関にハンカチなどを出すなど、マンションと戸建てでやり方が変わる。
- ・自治会の数が多い拠点だと、訓練をやってもなかなかまとまらない課題がある。



グループB 上大岡・大久保最戸・笹下・日野第一

- ・在宅避難の確認として、家の前にリボンやハンカチをかける工夫をしている。
- ・東日本大震災で避難者受け入れ時の受付が大変だと感じた。バーコードを用いた避難者カードの導入を進めている。
- ・防災拠点運営は避難者も含めてみんなでやっていくものだという意識をもっと持ってもらえるようにしていきたい。
- ・まずは自分が安全でないと誰も助けられない。自助の大切さをこの研修で改めて感じた。



グループC 日下・日野・永谷・日野南

- ・発災後の時間ごとの対応マニュアルを作り配っている。浸透性に不安があるため、再度徹底していく。
- ・防災拠点に入れる数には限界があり、在宅避難が必要になる。
- ・在宅避難するのはいいが、在宅避難している世帯の状況把握が困難であることが課題ではないか。
- ・拠点マニュアルはあるが、在宅避難のガイドラインがない。それぞれ単会でも考える必要はあるが、行政でも作ってほしい。



グループD 永野・下永谷・芹が谷・ひざり

- ・連合でLINEグループを作り防災拠点からの情報を共有するほか、各単会でもLINEグループを作成している。
- ・防災拠点と自治会のエリアが異なることや連合が違うところもある。顔見知りでない人との運営では一層連携が難しい。
- ・訓練等に出てこない人へのアプローチが難しく、災害時に助けていくことができるのか不安がある。
- ・連合内に防災拠点が2つあるが、2つの防災拠点の連携がほとんどなく、一つにまとまらない。



まずは自分自身の安全が第一！ 日頃からの備えは重要だよ！



【港南区の防災5箇条】

- | | |
|------------|------------------------------|
| 話し合おう！ | 家族の連絡どうするの？ |
| 備えよう！ | 最低でも、食料・飲み水3日分（トイレパックも忘れずに！） |
| 圧死から身を守ろう！ | 家具の転倒防止と耐震対策 |
| 避難時は！ | 電気・ガスの元栓切って |
| 地震だ！ | となり近所に声かけて、まずは「いっとき避難場所」 |

過去の広報よこはま防災
特集記事はこちら



港南警察署長からのご挨拶

港南警察署長 村野 英明



昨年の9月15日付けで警察本部通信指令課長から港南警察署長に着任いたしました村野です。日頃から、区民の皆さまには警察行政全般にわたり、格別なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

港南区は、私の趣味である剣道を通じて深い縁があり、以前から港南台方面の小学校等で稽古をさせていただくなど、言わば地元のような存在です。

警察署長職に就けるのであれば港南警察署と願っていたところ念願が叶ったというわけです。

さて、管内の治安情勢は、依然としてオレオレ詐欺などの特殊詐欺事件が後を絶たず、その摘発に大きな期待が寄せられています。

この期待に応えるべく、各機関との関係強化や情報共有を図り警察署の存在意義を高め、区民の皆さまの負託にこたえていく所存です。

退任された 地区連合町内会長からのご挨拶

前 港南台連合自治会長

齊藤 晴通



平成26年度から8年間、港南区連会に参加し、皆さまから大変有用な情報を沢山いただきまして有難うございました。

港南台地区は、開発から約50年経ち、高齢化が進んでいます。

自分だけでは生活が困難になった高齢者に、近隣の人達が支援の手を差し延べる仕組の充実が重要だと感じています。このためにも、自治会活動を一層発展させていただきようお願いします。

『元気な地域づくり フォーラム』の開催 について

日時：令和5年3月11日（土）
13：30～15：30（予定）

場所：港南公会堂 ホール

内容：・地域活動事例発表

・街のアドバイザーによるステージ
パフォーマンス

・令和5年度の取組方針共有

人数：各地区から15名まで

開催内容は4月以降に区役所のホームページにも掲載予定です。

リモート会議で県外からでも！

上大岡第三町内会（上大岡連合）では、リモート会議を導入しています。町内会の衛藤幹郎会長からは、「リモート会議は自宅だけでなく、外出先など離れたところからでも会議に出席できる。もちろん、ICTに不慣れな方からの理解を得るのが大変だったが、1度体験してもらい、『これは便利だね』という声を聞くことができた」とお話がありました。現在は電子回覧の導入を検討しているなど、ICTを取り入れた地域活動をさらに進めています。



リモート会議の様子

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会または港南区連会」と記載しています。

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

編集
後記

■皆さんは在宅避難に向けた準備はされていますか？食糧の備蓄は最低3日分と言われていますが、食糧と同じぐらい大事なのが、「トイレパック」です。災害時、トイレが壊れて使えないことを想定して備蓄しましょう。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。（横浜市港南区港南4-2-10 港南区役所地域振興課内 ☎ 847-8391 FAX 842-8193）

■区連会会報担当
小後摩和雄／三橋茂樹
■編集委員
筒井英子